

令和5年沼津市教育委員会 第5回定例会会議録

1 日 時 令和5年5月16日(火)
午後3時00分～午後3時43分

2 場 所 沼津市立図書館 4階 講座室

3 日 程

- (1) 開会
- (2) 会議録署名人の指名(土屋委員 佐藤委員)
- (3) 教育長報告
- (4) 議案
- (5) 協議事項
- (6) 報告事項
報告事項1 令和4年度地域教育懇話会の開催報告
報告事項2 令和5年度沼津市民大学の開催と受講生募集について
- (7) その他

4 出席者等

教育長 奥村篤、教育長職務代理者 川口浩史、委員 土屋葉子、委員 重光純、
委員 佐藤清子、教育次長 山本貴史、教育企画課長 原将史、
生涯学習課長兼ゆめとびら舟山所長 山本浩司、
調整担当・教育企画課長補佐 内村一徳、教育企画課指導主事 栗原克弥、
教育企画課主任 岩崎雄、教育企画課事務補助員 後藤恵

5 会議内容

(1) 開会

奥村教育長が午後3時00分開会を宣言する。

奥村教育長 今朝の富士山は、一昨日、昨日の天気により、ケーキに振りかけたパウダーシュガーのような美しい雪化粧であった。本日は各地で夏日、真夏日を記録する予報もあり、明日は群馬県前橋市では35度の猛暑日を記録するとの予報も出ている。暑さにまだ体が慣れていないためどうぞ御自愛いただきたい。

人生100年を見据えて、「リカレント教育」や「学び直し」、「生涯学び続ける」等々のキーワードを耳や目にすることが多くなったが、持続可能な社会の作り手を育てるには、私たち大人が自己肯定感や自己有用感といったものをもとに、主体性や想像力を私たち自身が身に付けなければならないと思っている。最近、「チャットGPT」というAIを使ったチャットサービスが話題となっているが御存じだろうか。大学教授が、論文の評価を正確にできるか現時点では自信がないということが番組にも取り上げられていた。今後、小中高校生の読書感想文や自由研究などにも影響が及ぶのではないかと懸念もある。夏休みの課題で、読書もせずにAIが作成した感想文が、その学校の代表としてコンクールに出品され、入選し表彰されるということが起きてしまうかもしれないということで、それでよいのか

と。AI時代に求められる資質や能力として、「これまで以上に高度な読解力と判断力」が挙げられている。今後この高度な読解力と判断力を身に付けることが私たちに求められるのだということを、今更ながら思い知らされた次第である。今年度も昨年度に引き続き事務局職員が研修参加しているので、御承知おき願う。

(2) 会議録署名人の指名

奥村教育長より、会議録署名人に土屋委員、佐藤委員を指名する。

奥村教育長より、本日の会議は公開とすることを委員に諮り、了承される。

傍聴人 0人

(3) 教育長報告

奥村教育長 5月4日、先月の定例会において報告した「第39回こいのぼりフェスティバル」の開会式に参加した。4年振りとなる親子がふれあえるイベントとともに、4月29日から5月5日までの7日間、狩野川の河川敷に市制100周年記念のこいのぼりを含む100匹以上のこいのぼりが、5月のさわやかな風によって悠々と泳いでいた。佐藤委員もボーイスカウトの隊員として参加していただいた。親子ふれあいイベントは4日と5日の開催であったため、開会式は4日に行われた。当日は本当に多くの人で賑わい、活気が戻ってきたことを実感できる一日となった。生涯学習課長によると、通して延べ2万人の方々が訪れたとのこと。非常に賑わい、天気も良くてよかったと思った。

5月14日、御用邸記念公園で開催された沼津茶会に参加した。こちらについては土屋委員と佐藤委員も参加された。後ほど御感想をいただければと思う。記念すべき市制100周年の年であるため、全席において沼津産の抹茶が使用された。名前は山頂。もう1種類については名前を確認しきれなかったが、山頂は非常においしかった。後味もすっきりとしており、苦みもなく色もきれいであった。今まで沼津茶で抹茶を作るのは難しいと言われていたが、非常においしい抹茶ができたと思った。また、日本の伝統文化を継承する若手からのおもてなしということで、日本大学国際関係学部や飛龍高校の茶道部による茶席も設ける予定だったが、前日からの雨により前日の時点で学生の催しを中止とした。御用邸の施設を上手に使いながら皆さんに開催していただいた。

土屋委員 前日から雨がひどかったので、準備の方々は大変だったと思う。とても素敵なお茶会であった。感謝申し上げます。

佐藤委員 お裏の席に入らせていただいたが、広いことと、参加者が多いこと、マスクをしていることから、様々な説明が聞きづらかった。末席にいた小さなお子様たちは、よく分からないうちにお茶を飲んで終わってしまったように感じ、少し残念に思えた。しかし、お茶を好まれている方が多いという印象であった。

奥村教育長 親子の姿を見ると微笑ましく思う。このように文化が継承されていくとよいと思う。

私は校長会や教頭会の場で現場主義という話をしているが、人事管理訪問が昨日から始まり、片浜小中学校に訪問させてもらった。特にアフターコロナにおける先生方や子供たちの様子を見たいと思っていた。一番気になったのが給食の時間である。これまで黙食ということで、話をせず前を向いて黙々と食べるという時

間が2年以上続いたので子供たちの様子が気になっていた。昨日はまだ、学校として前を向いて食べていたが、ごく自然に会話をしながら食事をしているという状況であった。アフターコロナとなりつつある中で、全ての制限が解除されるわけだが、これまで体に染みついたものが時間の経過とともに、子供たちも徐々にコロナ前の形に慣れていくのではと思った。マスクもまだ半分以上の子供たちがしている状況で授業が行われていた。私も意図的に外しているが、個人の判断で、アフターコロナの生活が少しずつコロナ前の形に向かっていくと思う。その他出席行事や予定行事については一覧のとおりとなっている。

<議案>

奥村教育長 日程(4)議案は、本日は案件なし。

<協議>

奥村教育長 日程(5)協議事項は、本日は案件なし。

<報告>

奥村教育長 日程(6)報告事項である。

報告事項1 令和4年度地域教育懇話会の開催報告

<昨年度、本市を取り巻く教育課題への対応に向け、各地域の皆様からいただいた御意見を今後の取組や事業の方向性に反映させるため、地域とともに子供の未来を考えていく「地域教育懇話会」を全ての中学校区で開催した。寄せられた御意見、要望を踏まえ、今後の各施策の推進に取り組んでいく。>

(教育企画課長 資料に基づき説明)

奥村教育長 説明が終わった。10月に行った総合教育会議のテーマと重なるが、本件に対する御質問、御意見はいかがか。

川口委員 懇話会は、事務局が投げかけた内容について感想を書いてもらう形式で行ったのか。それとも対話形式で行ったのか。

教育企画課長 地域の担い手となる自治会の役員やスポーツ関係、学校関係が集まるコミュニティの場が主な会議の設定の場である。地域の会議が始まる前の時間を利用した際は短いところで30分程度、懇話会のために場を設定した地域では長いところで2時間ほど行った。会の進め方としては、私どもから3つの案件について10分ほど説明をし、残りの時間で各案件について御意見をいただきながら、その場でお答えできるものはお答えし、承るものは承って今後の施策に活かしていくという説明をした。2時間行ったところでは、部活動への御意見を多くいただいた。

川口委員 先日、静岡県の市町教育委員会協議会に出席したが、同じテーマが取り扱われていた。同じ問題を異なる市町で抱えている状態だが、地域によって進捗や理解に差が出ていてもどかしい気がする。県のレベルで周知を図ることも必要だと思った。

奥村教育長 各市町に任せられている。状況は多少なりとも違うところがあり、部活動の地域移行に関しては、静岡県西側と東側ではだいぶ進捗状況が違う。西側のほうでは、中学校体育連盟（中体連）という組織から脱退しようと考え、その方向性の準備をしているところもある。受け皿があるところはどんどん進められる。総合型のクラブチームがあるところとないところや過疎化の具合ではだいぶ違う。文部科学省も改革推進という言葉に変え、地域移行の前に地域連携部活動、合同部活動、エリア部活動など様々な形で進めていこうということ。やはり格差はある。

川口委員 沼津はわりと進んでいるのでは。

奥村教育長 東部管内では、部活動地域移行に関して関心が高く、やれることはやっていくという方向である。

教育企画課長 テーマは3つあり、適正化については地域の状況に応じて取組に差がある。コミュニティ・スクールについては、今年度、当初においては全校区に設置を目指して取り組むところだが、既に進んでいる地区もある。コミュニティ・スクールの担当である学校教育課や生涯学習課においては、既に進んでいる地域の情報を、これから設置する地域や設置したばかりのところにも周知を図る取組を行うことも聞いている。

奥村教育長 地域の方々にとって部活動というものが馴染んでいるため、学校から切り離せないという思考がある。部活動の地域移行の定義は、学校単位で行われている部活動を学校から切り離すことであり、最終的には切り離す形態になる。まずは住民、保護者を含めその理解をしてもらうことが必要と思っている。今年の初めから、小学校、中学校の保護者宛に、部活動の地域移行がどういうものであり、すぐになくなってしまいう訳ではなく国から段階的に示されていること、今年度協議を開始するという、また中体連については地域クラブの参加が認められる傾向にあるという情報も含め、お知らせをこれまでに2号発出している。今後については、どういう形で協議が進んでいるという情報も含め周知をし、共感を得ながら進めていきたいと考えている。

奥村教育長 働き方改革という言葉が出てくるが、子供ファーストを前面に出して地域移行を進めていく。

佐藤委員 地域によって温度差があるという話があったが、沼津市内においても学校規模や校区によって問題と捉えているところは違うと思う。コミュニティ・スクールと部活動の地域移行についてはどこの校区でも関心が高く解決しなくてはいけないと考えていると思う。しかし、学校規模・学校配置の適正化については校区によって温度差があったと思う。その点について懇話会の実際の様子はどうだったか。

教育企画課長 地域ごとの児童生徒数の推移をお示しした。現在の基本方針で示されている検討の必要な地区は、昨年推計調査を行った結果から依然として好転していないため、そうした状況をありのまま示している。例えば、大平、浮島地区については懇話会の中で令和5年度に地域の皆様と協議、検討する組織を立ち上げさせてくださいという話も含めてした。また第二校区においては、地域としての考えをまとめているところなので、そうしたものも含

- めて協議等の場を調整させていただきたいという話をした。それぞれコミの会議の場だったため、特段強い御意見をいただくということにはなかった。
- 重光委員 部活動の地域移行に関しては、費用が余計に掛かるのではないかと懸念があると思う。費用面についてどうなるのかという見通しについては説明したのか。
- 教育企画課長 費用面についての御意見もあった。費用面についてもそうだが、指導者について、機会が失われないようにするためにはどのような課題を列挙する中で、そうしたものについて検討を始めるのが令和5年度であるという説明をした。現状、費用面については格差がなくなるような国の若干の措置もある。それは、生活困窮者を対象というベースだと認識している。委員がおっしゃったのは、そのレベルではないという話とも思われるので、その点についても今年度検討していきたいと考えている。
- 土屋委員 コミュニティ・スクールや部活動に関する御意見は予想できた内容が多かったように思う。学校規模・学校配置に関する意見については、コミュニティの定例会や地域学校協働本部の方からの意見となると、父兄はあまり多くなかったのではないかと思う。以前の第二地区の問題で、一番残念がっていたのは、直接子供を学校に通わせていた子供本人と父兄である。そのため、今回挙げた意見は少し視点が違うという気がする。父兄や子供たちの意見をくみ取ってあげられるといいのではないか。
- 教育企画課長 今回、地域教育懇話会として開催したのは、地域総がかりで取り組むということで、学校を取り巻く環境を支える地域の方に周知をするという要素も含めている。確かに土屋委員がおっしゃるように保護者の方は割合としては多くはなかった。ただ、コミュニティ・スクールや部活もそうだが、地域コミュニティが担う学校ということで地域の方に対して説明した。今後、協議組織を設置する際には、従前よりも保護者の数、地域の方の数を増やし組織を厚くすることも考えている。また、協議組織の前段としては地域に対しての説明会等も予定している。その中で、学校施設は子供のための学びの場というところをベースとして持ちつつ、保護者等の意見に重きを置きながら協議を進めていきたいと考えている。
- 奥村教育長 年齢層によっても、人によっても受け止め方が違うため、全員に御理解いただくことはかなり難しいと思う。最終的に何を優先しなくてはいけないのかというところだと思う。我々が考える教育環境において、新入生が数人である子供たちが、このままの形で義務教育9年間を過ごしていくことを黙って見ている訳にはいかない。今年度、話し合う場を講じていき、伺った御意見を踏まえながら進めていければと思っている。
- ほかにかがが。なければ、本件は報告を受けたということで御了承願う。

報告事項2 令和5年度沼津市民大学の開催と受講生募集について

<「豊かな未来をひらく」をメインテーマとして、自ら一步を踏み出せるような市民生活に関連した内容の講義を通じ、受講生の自発的な学習を促すことで、豊かな未来を創造するための教養を身に付けてもらうことを目的として開催する。>

(生涯学習課長 資料に基づき説明)

- 奥村教育長 説明が終わった。今年度は市制100周年の特別事業として、これまで2回だった特別公演を3回にしたとのこと。御質問はいかがか。
これまでは、大学の先生が休みの時にということで、凝縮された期間で講座が開かれていた。今回は7月から10月の後半までということで、少し間隔が開いているため良いと思った。ハンカチ王子の斎藤祐樹さんや、鳥谷の三井石根さんなど興味深いのでは。
- 川口委員 個人的に田辺鶴遊さんの講義が気になった。
- 生涯学習課長 講談師として著名な方で、江原素六先生の関係の講談を得意としているためお願いした。
- 奥村教育長 田辺一鶴氏が師匠であり、沼津にいらした時に2回見に行ったことがあるが面白かった。
- 佐藤委員 9月9日の清水寺貫主、森さんの講座では、ステージ上で揮毫されると思うが、揮毫された物の公開はどのようにするのか。
- 生涯学習課長 揮毫については依頼し承諾をいただいているが、文字については検討中である。その他についても現在検討中である。
- 佐藤委員 どこかに飾るとか、ホームページに掲載するなどあると思う。
- 生涯学習課長 詳細については市長部局とも検討していく。
- 奥村教育長 今年を表す漢字一文字というのは小学生も知っているため、非常に楽しみである。
- 土屋委員 毎年、都合のつく限り出席をし、とても良い思いをさせていただいている。今年も拝聴させていただきたいと思っている。
- 奥村教育長 昨年度は大雨で中止や延期をしたこともあるが、日程通りに開催できると良いと考えている。たくさんの方が受講生として参加されることを期待している。
ほかはいかがか。なければ、本件は報告を受けたということで御了承願う。

<その他>

- 奥村教育長 日程(7) その他である。
ほかになければ、本日の定例会を終了する。

午後3時43分 閉会